

どうする私たちの町づくり

一般質問

こじが

知りたい！
聞きたい！



新田 健介 議員

何でも議会の開催について

問 現在、全国の数多くの自治体でも議会を開催している。その実施形態や審議内容などについては実施する議会ごとに違いはあるものの、いずれの自治体も、未来の有権者である子供達に、議会・行政の仕組みを理解してもらおうことや町の将来について、より深く考える場を提供することを目的として開催されていると考えられる。



大島庁舎3階議場

自分の住んでいる町に、より関心を持ってもらい、自分の夢、そして希望などを織り交ぜながら、行政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、子供だからこそその目線の意見を、今後の行政運営に反映していくことも大切なことと考える。

こども議会の開催について、今後の可能性を問う。

答 こども議会については、議会というものを理解するには大変良い機会であるが、学校のカリキュラムの調整や学習指導要領等との関係もあるので、学校現場とも協議しながら検討することが必要となる。今後、関係部局と検討していきたい。



吉村 忍 議員

野犬について

問 東和地区において、頻繁に目撃されている野犬について、事故が起こる前の保護を願うが、町として今後の保護に向けた取り組みを問う。

答 法的に、町ができる保護手段は、檻を設置する方法でしか対処できない。今以上に柳井環



野犬保護用檻

異常がありましたら、柳井環境保健所、もしくは、生活衛生課（79-1010）までご連絡下さい。

境保健所への要請、警察などの関係機関との協力により対処していく。

電動カー利用者支援のシステムについて



登録された電動カー

問 登録率100%を目指すため、今後の取り組みを問う。

答 任意の制度のため、登録率100%は難しいが、電動カー利用者の安全を図るため、今後も町広報誌等でのPRや地区民生委員さんによる登録勧奨に努める。

【電動カー利用者支援のシステムとは？】

電動カーの利用者の住所や氏名、緊急連絡先などを登録し、車体ナンバーを設置する取り組みです。高齢者の事故や急病などに素早い対応ができると期待されています。